

# 松 楓

令和3年9月1日 発行

題字 故 井上知真元校長

45



水彩画「煌めき」 24回卒 市川光男

## 埼玉県立飯能高等学校校歌

町田多加次 作詞  
鈴木宣彰 作曲

### 一、雲光る

仰ぎみる  
碧き多峯主  
眼差しさやか  
若き我らが  
生命燃えて  
高鳴る胸よ  
学びの庭に  
師とともに

### 二、夕靄の

縫いめぐる  
天地の間  
若き我らが  
入間の水に  
ああ流れゆく  
思念浮かべ  
星霜偲ぶ  
学びの園に  
師とともに

### 三、大空は

武蔵野に  
暁のいろ  
若き我らが  
陽はまた昇る  
ああ唳々と  
哀歎揺れて  
吹く朝風よ  
学びの窓に  
友よいざ  
師とともに  
謳い歩まん  
青春の日を

昭和50年制定



## 未来を信じて



23回卒 会長 澤田 清志  
(飯能市在住)

現在も私たちを包み込んでいます。今後、ワクチン接種等により収束に向かうことを切に望むところでです。

会員の皆様には、同窓会の事業運営にご協力を賜り、心から御礼を申し上げます。

この一年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、私たちの生活も、環境も大きく様変わりをしました。経験したことのない見えない大きな不安は、

れにより、定期総会も去年同様、6月5日(土)の役員会をもって審議・承認し、報告する形となりました。内容は、今号とホームページに掲載いたします。何とぞご了承を賜りますようお願いいたします。

役員が集まることができた日、それぞれの高校時代の思い出話ができることがあります。お世話になった先生方、楽しかった授業、充実した部活、学食や丸パンの昼食風景、学校周りのお店、学校帰りに寄ったロッケ屋等々…。年の差が10年以上も離れておる者が、飯能高校を中心とした大きな輪の中で話は

尽きることはありません。いつの時代であつても学び舎は同じです。常に同窓は仲間であります。「先輩後輩」の欄に多くの方々に登場していただき、その時代ならではの話を多く掲載し、大いに懐かしむことができれば幸甚と考えております。また、コロナ終息に予定されるであろう各クラスや学年での同窓会の折りには、ぜひ「松楓」の配布をしていただきたいと考えております。参加人数の部数を事務局まで申し込みください。

2022年度(令和4年)「創立100周年記念事業」も、このコロナ禍ではありますが準備

を着々と進めております。その中で、記念誌部会より「卒業アルバム」の所蔵不明年を探すことを依頼されました。100周年記念事業のページ(P11)を参照され、所持されている方は連絡をお願いいたします。

今後、母校への応援事業、新校開校(令和5年度)に伴う同窓会の準備、100周年記念事業への応援等を役員の方々と同窓会員のお力を借りながら、一歩一歩取り組んで参る所存です。今後とも、明るい未来が来ることを信じて、母校飯能高等学校と後輩たちを応援して参りましょう。

## 歴史と伝統を踏まえた新校に向けて



校長 関口 正人

本校2年目を迎えました校長の関口でございます。同窓生の皆様には、日頃から本校の教育活動に対して格別の御理解・御協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

また、100周年記念事業につきましましては、木川一男会長様のもと、100周年実行委員会

の各部会の皆様を中心に準備を進めていただいておりますことに、重ねて御礼申し上げます。実行委員会の皆様と緊密に連携させていただきながら来秋の100周年記念式典及び関連行事の準備を進めてまいりますので、皆様の御理解・御協力をお願いいたしますと存じます。

さて、同窓生の皆様には大変御心配をお掛けしております飯能新校(仮称)関連ですが、新校準備委員会等において協議を

進めていただきまして昨年末に新校基本計画が策定されました。基本的なコンセプトは「進学を重視した地域と協働する高校」となります。新校の設置場所は現在の飯能高校です。基本的な枠組みは、全日制課程は普通科、単位制で募集定員は7学級で280名、定時制課程は1学級40名になります。本校と飯能南高校の今年度の1年生と来年度の入学生については令和5年度新校の生徒となりますが、引き続き入学した高校の場所で授業を受けることとなります。

統合問題の影響と新型コロナウイルスにより生徒募集活動の縮小の影響が心配されました今年度入試については、県全体で

57校が定員割れする状況下で1・04倍を確保し、受検生から選ばれる学校としての評価を継続できたのではないかと考えます。今後については、中学生、保護者の皆様及び地域の方々に新校の内容を含めた情報を更に積極的に発信し、安定した生徒募集活動を展開してまいります。また、前述しましたように令和5年度からの単位制導入を見据えて、令和4年度に向けては選択幅を拡大し、多様な選択科目を設定したカリキュラムを準備しております。これからの社会では自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動する力が求められます。これからの社会で

必須の学びとなる探究的な学び

についても引き続き継続してまいります。最後に本年3月に同窓生の茅原健様(5回卒)から本校に御寄贈いただきました「飯高時報」(飯能高新聞の前身)を御紹介させていただきます。昭和25年6月の創刊号から第24号までの揃えて、共学実施に伴う飯能高等学校へと改称された往時を忍ぶ大変貴重な資料となります。この他にも「生徒会誌」(創刊号第4号)をはじめ貴重な資料を御寄贈いただきました。これらの資料につきましては、多くの皆様に御覧いただく機会について検討を重ねてまいります。考えます。

の

## 寄稿

## 飯能の自然を描く



37回卒  
川島 春子  
(飯能市在住)

私は今、生き物を主役にした科学絵本の仕事をしています。『あまがえるのかくれんぼ』(たてのひろし/文 世界文化社 2019年)と『あまがえるのぼうけん』(たてのひろし/文

世界文化社 2021年)この二冊は、科学とファンタジーの間に挑戦した作品です。カエルは擬人化されていますが、アマガエルの生態を元に創られています。師匠である館野鴻氏が物語を、私が絵を担当しました。登場するアマガエルは約10年間飼育しているカエルたちがモデルです。今現在6匹飼育し、面白いポーズをしていればスケッチしたり写真を撮ったり、日々観察を続けています。絵本の中のアマガエルたちは二足歩行をし会話もします。そのまま自然の中で暮らしている様に、読者

がアマガエルたちの住んでいる草むらや森の中に、すっと入っていきけるように、物語の舞台は実際に生息環境を観察し、植物や登場する生き物を描いています。絵本の中の風景は、天覧山、多峯主山、宮沢湖周辺の雑木林や田畑など、ほぼ飯能の風景を参考にしています。いつも車の中に長靴と捕虫網を載せていて、買い物ついでに近くの田んぼや畑でカエルの餌の昆虫を獲っています。カエルを通じて季節の移り変わりなども肌で感じ取る事ができ、飯能の自然を描く事が生活の大半となっています。

飯能高校時代(昭和57年入学、60年卒業)を振り返っていると、その3年間は、軟式テニス部に所属し、部活に明け暮れた日々を過ごしていました。選択科目の第一志望の美術から外れたので、絵を描く事はほぼありませんでした。一度だけ、生物の授業の時に「昆虫を観察して描こう!」といった内容の授業があり、当時はずっと隠していたのですが、実は大の昆虫好きで、大手を振って絵を描く事ができることに嬉々として点描画の昆虫を仕上げました。その時、同じクラスのK君に言われた「うまいね。プロになれるんじゃないか

いの?」どこか頭の片隅に残っていた言葉を思い出しました。高校、大学卒業後も本格的に絵を仕事にしようとは思っていなかったのですが、様々な人との出会いを重ね、少しずつ絵を描くチャンスにめぐり会い、自然と今の仕事に辿りつきました。

先日は、新刊の「あまがえるのぼうけん」を寄贈しに36年ぶりに飯能高校を訪れました。母校の図書室に自分の絵本が置かれるなんて、高校生の私には想像もできなかった事、人生何が

起こるか本当に分らないものです。最後に高校時代の同級生のありがたさは、この仕事をしているとしみじみと実感します。特に2年3組は今でも仲がよく、様々な職業に就いた同級生が活動の場を作ってくれたり、自分のことのように応援してくれます。卒業以来、毎年のようにクラス会は続いています。今回、担任の新野先生から寄稿文のお話を頂き、改めて自分の仕事を振り返る良い機会をつくって頂きました。

今、飯能の豊かな自然の恩恵を受け、多くの人に暖かく見守っていただき絵を描ける幸せを噛み締めています。次作の絵本ももう始まっています。「かくれんぼ」「ぼうけん」の次は、『あまがえるのたんじょう』です。また飯能の田畑に通う日々が始まります。これからも私たちの暮らしている生き物たちの事を描き、皆さまに楽しんで頂ける絵本を創っていきたいと思っています。



『あまがえるのぼうけん』  
(たてのひろし/文 かわしまはるこ/絵  
世界文化社 2021年)より



2000年シドニーオリンピック男子マラソン出場

# 川嶋 伸次さんへの インタビュー

37回卒 川嶋 伸次 (東京都在住)



◎陸上を始められたきっかけは？(特に長距離を選択した背景など)  
**川嶋さん** 中学校では、柔道部に入学しましたが、陸上部の長距離の人数が少なかった為、柔道部に在籍しながら、駅伝に駆り出されることが何度もあり

ました。柔道より駅伝の方が成績も良く、後に陸上部へ転部をしました。当時、飯能高校の陸上部の顧問である内川勝巳先生の勧めもあり、飯能高校に入学して本格的に陸上をはじめるとになりました。



1984年8月秋田インターハイ(3年) ナンバーカード352

◎日本体育大学に進学を決められたときの背景やお気持ちを聞かせてください。  
**川嶋さん** 高校時代に達成できなかった目標を「箱根駅伝」で達成する為、進学を決意しました。いくつかの大学から勧誘を頂いていたのですが、内川先生の母校である日本体育大学を選びました。内川先生も箱根駅伝を目指し日本体育大学に進学

◎高校時代の生活や陸上部での思い出がありましたらお聞かせください。  
**川嶋さん** 部活動がメインの高校時代でした。チームで「全国高校駅伝出場」を目標に日々練習に取り組んでいましたが、残念ながら、あと少しのところまで目標を達成することができませんでした。しかしこの悔しさがその後の競技生活を支えてくれたと思います。



1989年1月箱根駅伝(4年)

◎実業団時代の思い出やご苦労されたお話があればお聞かせください。  
**川嶋さん** 大学時代、4年連続で箱根駅伝に出場できたものの「優勝」には一歩届かず最高順位は2位という結果で4年間を終えました。教員になるか？実業団へ進むか？で迷いはありましたが、実業団へ行くことを決意しました。飯能高校の一つ先輩の牧野典彰さんが、旭化成陸上部にいたこともあり、旭化成へ入社し陸上部に入学をしました。高校時代の先輩とまた同じチームで走ることができるとを嬉しくもあり、不思議な縁も感じました。

◎実業団(旭化成)に入団された時の背景やお気持ちは？  
**川嶋さん** 大学時代、4年連続で箱根駅伝に出場できたものの「優勝」には一歩届かず最高順位は2位という結果で4年間を終えました。教員になるか？実業団へ進むか？で迷いはありましたが、実業団へ行くことを決意しました。飯能高校の一つ先輩の牧野典彰さんが、旭化成陸上部にいたこともあり、旭化成へ入社し陸上部に入学をしました。高校時代の先輩とまた同じチームで走ることができるとを嬉しくもあり、不思議な縁も感じました。





1999年1月ニューイヤ-駅伝

飯能高校時代の陸上部の顧問の内川勝己先生が一番喜んでくれるだろうと思えました。大学進学の際に色々とお世話になり、飯能高校を卒業してからもずっと気にかけて頂き、良い成績を残すといち早く連絡をくれました。また高校時代に一緒に頑張った陸上部の仲間には、みんなの代表として走ってくると伝えたいことを思い出します。

①シドニーオリンピックにご出場されて、オリンピックへの思いやご感想をお聞かせください。

川嶋さん シドニーオリンピックでマラソン代表になったのが34歳。それまでの間にオリンピック代表選考レースを何度か経験してきましたが、あと一歩届かず悔しい思いばかりでした。引退も考えましたが、あきらめきれず結局34歳というマラソンランナーとしては高齢になって



2000年シドニーオリンピック

しまいました。最後まであきらめなくてよかったです。ありがとうございます。

②指導者になられた後、後進の指導について、どのような点に気を配られてご指導をされていますのでしょか？

川嶋さん とにかく、今やっていることを一生懸命にやる、それがその先の何に繋がるかは



2000年3月琵琶湖国際マラソン

③特に、若い世代の後輩達に何か一言があればお聞かせください。

川嶋さん 競技者時代に学んだことですが、「迷ったときやうまくいかないときは誰かの意見をもらう」こと。それを参考に自分としての考えを出すことが大事なのではないかと思えます。

④最後に、読者の方々に、お伝えしたいメッセージがあればお願いします。

川嶋さん 陸上選手としての

基礎を作った場所が飯能高校でした。競技に対する考えから、身体的なものすべてで、大変感謝しています。飯能高校の卒業生であることに誇りに思います。

2021年は1年遅れで東京オリンピックが開催されましたが、大半が無観客での開催となり、チケットを手に入れた方々は大変残念なことだったと思いますが、感染拡大防止にはやむを得なかった事と思います。今回は、前号に続き、飯能高校出身のオリンピック出場選手として、マラソンの川嶋様のインタビュー記事を掲載させていただきます。前号と同様、コロナ禍ということもあり、お会いすること無く、メールでのやり取りとさせていただきます。高校時代は2学年差ということで、当時の部活動の練習シーンを見ていたこともあり、今回インタビューの写真を見せていただいた際には、昔を思い浮かべられた貴重な瞬間でした。川嶋様におかれましては、大変お忙しい中、ご対応をいただきまして、本当にありがとうございます。躍動感ある写真に、役員共々魅せられてしまいました。 K・Y

⑤シドニーオリンピックの代表選手に選ばれた時のお気持ちはいかがでしたでしょうか？

川嶋さん 代表を決めた時は、

大きい。 高校、大学と達成できなかった駅伝で日本一になることを目標に日々トレーニングに取り組みました。当時の旭化成陸上部は、マラソンや駅伝において圧倒的な力で成績を残しているチームでしたので、最初は駅伝メンバーに入ることすらできないでいました。5年目によりやく成績が残せるようになり、その後はニューイヤ-駅伝のメンバーとして優勝を4度経験致しました。

# 喜寿の祝

## 飯高は 我が人生の出発点



15 回卒  
町田 昇  
(飯能市在住)

私の母は学校組合立飯能実科高等女学校の第5回卒業生です。飯高の教師をされておられた関川茂子先生の3学年後輩です。母は女学校時代がとても良かったのでしよう。私が幼い頃より当時の話を懐かしげに話しておりました。旧東吾野村より2時間余り掛け駒下駄で通学、その歯が1週間位で減ってしまったこと、羽織袴姿で自転車通学していたころ、道々で冷かされたこと、部活動で卓球、籠球など時間を忘れて練習したことなど数限りなく話をしてくれました。そのような話を日課のごとく母から聴いているうちに洗脳されてしまったのか、いつか私は飯高に進もうと思うようになっていました。

夢と希望を胸に飯高を受験しました。しかし満足できる合格点ではありませんでした。その筈です。一番苦手で馴染めなかったのが勉強です。しかしそんな私でも天は見放さず救ってくれました。能力無き者は「努力と継続そして七転八起、最後は苦戦し十戦に勝つ」の教えでした。私の心の奥底で声を掛け続けてくださった天は、飯高の恩師と母です。

飯高に入学でき歩むべき道が方向付けされ出発しました。先輩、先生、同級生に恵まれ全力で何事にも取り組めるようになりました。

私が入学した年は3年生の姉が在学しており、そのため先輩の方々にも優しく指導して頂きました。今でも鮮明に脳裏に残っています。

飯高を卒業し早や58年余強く感じていることは、お世話になりご指導頂きました恩師、先輩、同級生に少しでも恩返しができるのかということ。遅れ馳せながら喜寿を迎えやっとそのことに気がきました。

人の命も延び人生百年と言われていきます。先々の命は解りませんが、私にも少々寿命が残っておりますので、今後の人生でその事に挑戦しようと思っております。

# 先輩・後輩

## 85才を迎えて 思い出すままに



7 回卒  
中山 邦子  
(飯能市在住)

十年一昔、八回を越えて今思う事、終戦は小学3年生の時女子組だった。書道は新聞紙の上で書いて練習、その紙で鼻をかみ鼻の下が黒くなった。道を歩く時は、本を読みながら歩いていたのを思い出す。

は飯能高校に入学。3kmの通学路を歩いて通おうと思っていたら、父が自転車を買ってくれた。今までも何も買ってもらえなかったの、とびきり嬉しくて、飛び跳ねたのを覚えている。3年間自転車置き場で一緒だった原市場や高萩の友達と、自転車に乗りながら楽しくおしゃべりした風景が懐かしい。学校に丸パンが売りにきて、10円のあるこ入りコッパンを友達と割って食べたのも、今でも思い出す永遠に残る味。部活動は、珠算クラブ。私は数字が好き、計算が好き、運動より勉強が好き。メガネ少女だった。年に一度開催されるロードレースは、銀座通りを走り、町を走る。女子は5000メートル、男子は1万メートル。走らないと単位をもらえないからと、しぶしぶ走った。私は120人中40位。思ったよりも走れたことがすごく嬉しかった。

卒業、私は進学も就職できず、ブラブラしていたら、友達が事務員を紹介してくれた。帳面付けや計算は、私の好きなこと。そして、主人と二人で工場を始め、その道50年一生懸命生きてきて、現在は、数独をしたり倍数を数えたりして健康に気をつけながら生活している。

飯能高校に入学したのは昭和37年4月、ずいぶん古い話です。今は生徒数が減少傾向ですが、当時は高校進学率の上昇に加えベビーブームの子ども達が高校生になる時期で、毎年のようにクラス数が増えていました。また3年生になった昭和39年は、東海道新幹線が開通し、オリンピックが開催された記念すべき年でした。日本は今よりずっと貧しく公害問題も多発していましたが、明日に向かう大きなエネルギーがありました。

高校生になった私の課題は部活動の選択でした。中学校時代の仲間2人と同じ部活に入る申し合わせをし、部活動紹介に臨みました。そして生物部を選択しました。活動内容に関心を持つこともありませんでしたが、部員が3年生の女子数名だけと言うことで、気楽に活動ができそうだったので思いもありました。入部後飯能市内出身のもうひとり仲間に会い、4人での活動が始まりました。

顧問の山口晋平先生は、休日や夏休みを利用して私たちを海や山に何度も連れて行ってくれました。特に、野辺山高原や房

# 高校時代を振り返って



17 回卒  
大川戸 浩  
(日高市在住)



冬休み講習終了後 屋根の上で



総鵜原海岸に泊まり掛けで行った時のことは今でもはっきりと記憶に残っています。また植物や動物を観察する方法や面白さも学びました。そしてこれらの体験が、理科の教員を志したことや旅行を趣味とするきっかけになったように思います。山口先生とは卒業してからもかなり長い間交流させて頂きましたし、3人の仲間は生涯の友となりました。

## 挫折、輝き、平穩



22回卒  
吉澤 昌彦  
(飯能市在住)

飯能高等学校を卒業して早半世紀。人間誰しも歳を取るものだ改めて感じています。高校では陸上部に入部しました。中学校時代、多少100m競走など自信があったからです。しかし、実際に入部すると練習は他の人に全くついていけず、食事も喉を通りませんでした。当時の陸上部は、県下でも有数の陸上王国でしたが、何も知らずに入部したのです。とても辛かったので母親に陸上部を辞めたいと話すと「これからも、辛いときすぐ逃げるの？」と言われたのを今でも思い出します。

で負けたことはありませんでした。最終的には100mを11秒1、走り幅跳び6m86cmの記録でした。人生で最も輝いた時期だったと感じています。悔やむのは3年生の時の県インターハイ予選走り幅跳びで負けたことです。原因は走力が伸び、跳躍力がついていけなくなったのです。当時のことを思い返すと、現在フイギュアスケートや体操選手など若い選手が活躍していますが、心身の成長に合わせ同じような演技ができるのか考えるとテレビ観戦すらできなくなりました。今は、毎日のように農作業をしています。孫たちに「じいじの野菜おいしいよ」などと言われると、その気になって毎年作ってしまいます。特に枝豆、トウモロコシ、ブロッコリーなど採りたて野菜が大好きです。あと何年生きられるか分かりませんが、高校時代に培った「逃げない、やればできる」に加え「どうにかなるさ」をモットーに、穏やかな生活を送っていきたいと思います。

## 思い出の卓球部



27回卒  
加藤 忠文  
(飯能市在住)

私が飯能高校を選んだ理由は卓球部が強いと聞いていたこと

と、自宅から近いということでした。中学、高校と卓球部に所属し、私なりに一生懸命に練習もしてきました。社会人になっても職場関係の卓球大会に参加させていただき全国大会にも何度か出場させていただきました。そのおかげで、友人関係もとても豊かになりました。もちろん、当時の汗をともした飯高卓球部の皆は一生の宝物で有り、同期のみならず先輩、後輩とも現在でも大変お世話になり感謝しています。

でも、今でも自問しているのが高校卒業後に卓球部のコーチとして現役選手の練習を指導していた時のことです。高校の卓球部のあり方について指導方法が間違っていたのではないかと反省しています。その当時は優秀な部員が多く全国大会に向けて夢中で指導していました。かなり厳しい練習をほとんど休みなくしていました。全国大会を目指している選手には当然かもしれませんが、全員には、いかななものだったのか、また全国大会出場のために部員の希望する戦型を無視して違う戦型を強いたり結構酷いことをしてきたと反省をしています。部員全員の力で全国大会出場の夢は果たせましたが、全員に厳しい練習方法で良かったのかどうか。多分、不満だった後輩も多かったと思います。部活のあり方について今も答えが生まれません。今

## 思い出



32回卒  
武田 昌法  
(飯能市在住)

あらためて言います。「至らぬコーチで申し訳ありませんでした。そしてチーム一丸で勝ち取った全国大会出場という最高の感動と思い出をありがとうございます！」

高校生時代の思い出は、同級生・先輩・後輩との青春の思い出はたくさんありますが、やはり部活動が一番の思い出になります。

飯能高校へ入学した昭和52年は、昭和48年のオイルショックの影響で、色々なものの価格が値上げでインフレ時代でした。賃上げデモも盛んで国鉄ストで学校が休みになることもあり、個人の消費は、車・住宅・家電を購入するようなまだ成長期でもありました。芸能界では、キヤンデーイズ引退、ピンクレディー絶頂、毎週欠かさず黒柳徹子と久米宏の「ザ・ベストテン」を視聴し、翌日の学校での話題となりました。スポーツでは、読売巨人軍の王貞治選手が世界新記録の756号を達成、国民栄誉賞第一号、現役で活躍中でありましたが、昭和54年には西武ライオンズが所沢へ、西武鉄道沿線みんなまで応援へ、自分も巨

人からライオンズファンへ…。そんな背景の中で高校3年間を過ごしました。

自分は中学校からサッカーをしており、中学の先輩からの勧誘もあり、高校入学後サッカー部へ入部。当時の高校サッカーは、浦和の高校が全国大会二連覇をし、サッカーの強豪県でありました。飯能高校は、陸上・柔道・レスリングといった部が全国レベルの選手が在籍しており、その競技では強豪校でありました。その頃のサッカーは、Jリーグもなく、キャプテン翼もまだ始まっておらず、子どもは野球がスタンダードでサッカー人気は今ひとつでした。

練習グラウンドは、線路向この、野球部とソフトボール部の間で練習をしておりました。もちろん、公式のサッカーグラウンドの大きさは取れず、正式のサッカーコートの3割くらいの広さで密集状態で環境は良いとは言えない中、練習をしていました。入学当初は筋力トレーニングが主体で、ボールをさわれるようになったのが、3年生が進路を決める頃でありました。この経験が後に県内強豪へとなる結果に結び付きました。当時は単純で過酷な練習ばかりでできなかったですが、科学的なトレーニング学が無きなか、後にして考えれば、上級生には感謝しております。3年生の時、キャプテンを任せられ、専任顧問の先





ありません。  
最後になりますが、そんなホッケーとの出会いと、当時お世話になった方々への感謝の意を表しますとともに、飯能高校の更なる発展をお祈り申し上げます。

## 仲間



52回卒  
石森 聡  
(飯能市在住)

私は、今から20年以上前地元路線まっしぐらの飯能西中学校から飯能高校に進学しました。私は決して優秀でもなく、褒められるような生徒でもなかったと思います。友達や先生方に恵まれ、伝統ある飯能高校で学生生活を過ごすことができました。体を動かすことやスポーツをすることは大好きで、仲間と一緒に体育祭は全力で走り、文化祭でも精一杯準備をし盛り上げ、まさに「楽しかった」の一言であります。学校帰りアルバイトの休みの日には、今はパチンコ屋さんになってしまった「サビア」というシヨッピングセンターに行つてラーメンを食べたりクレーブを食べたり、夏休みには、原付バイクで九十九里浜まで海水浴に仲間と遊びに行きました。少しヤンチャな仲間たちでしたが、根は真面目でやる

時はやる。そんな仲間を持てたことは私にとって掛け替えのない宝物です。

私の仲間はとにかく地元大好き、飯能大好きな仲間ばかりです。仲間の一人は地元の名産品や西川材を扱う会社を営んでいてまさに地元愛にあふれています。私は現在も飯能に住み、かつて自分が通い、二人の娘も通う小学校のスポーツ少年団で指導者として小学生と毎週末、野球をやっています。これからの地元を築いていく子どもたちにスポーツの楽しさ、「仲間」の大切さを感じてもらい、笑顔で大切に指導というより一緒に楽しんでいきます。

コロナ禍の現在、なかなか遠出はできない現状です。この機会に地元飯能をもう一度散策してみると新たな発見があるかもしれませんね。

## 今思ふ事



57回卒  
信田 大輔  
(飯能市在住)

平成17年に飯能高校を卒業し、今年で34歳になりました。既に卒業してから15年以上経ちましたが、私の感覚としては、あつという間だったなあと感じています。10代より20代、20代より30代の方が時間の流れが速いよ

うに感じます。当時、私が飯能高校に入学した動機ですが、地元が飯能であり、当時住んでいた実家から徒歩で10分ほどの距離にあること、仲の良かった友人が飯能高校を志望していたことになりました。今振り返ると何も考えていなかったなと思いますが、高校生活を振り返ると、親しい友人達と充実した高校生生活を送ることができ、地元である飯能高校に入学し本当に良かったと思つています。当時仲の良かった友人とは今でも繋がつており、たまに飲みに行く間柄です。

現在は結婚し、一児の女の子の父となりました。娘は今4歳の登園は私が毎日送つており、朝の登園は私が毎日送つています。夜は仕事柄、娘が起きている間に帰宅できないことが多い為、朝のちよつとした時間がとても私にとって貴重な時間になります。なお、親になって改めて気づいたことですが、両親への感謝です。私は男3人兄弟でしたが、少なからず家事や育児をこなすなかで、仕事と家事を両立しながら良くここまで育ててくれたなと感謝しています。どんなに忙しい時でも朝起きると朝ごはん、夜帰ると夜ごはんを用意してくれ、それがどれだけ大変なのか親になってみて実感しています。これから親孝行して恩返しをして行かないとですね。

最後になりますが、今はコロナの影響もあり不安な日々が続きますが、皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

## 忘れないで



62回卒  
豊福 数記  
(神奈川県横浜市在住)

卒業から10数年が経つ。高校時代の友人とはsnsで近況を知るくらいで顔を合わせることもなくなつた。久々に連絡が来たと思つたらこの「松楓」に載せたいという依頼の連絡だった。なんだか切ない。部活動にも所属していなかった僕は、これといつて絵に描いたような青春を送つてこなかったが、二度だけ感情的になつたことがあつた。それは恩師の死と卒業式だ。

「恩師」と言うとなにか大袈裟なように思われるかもしれないが、1、2年生と担任の先生であり、部活動の顧問とも接点のない僕にとって、学校で相談できる唯一の大人であつた。3年生にあがる進路相談でも、先生の教で進路クラスに入り、進級先の学校も一緒に考えてくれた。それが今の仕事にまでつながっている。しかし、突然の訃報になぜ、どうして、考えても答えは出ずに葬儀で人目を気にせず泣いたのを覚えている。この経験を通してなにか言いた

いかというと、人との別れは突然訪れる。その時、その場所でも過ごした時間はそれが最後となるかもしれない。感謝を伝えるのも、思いを伝えるのも、伝えずに後悔を残してしまうのなら考えつくことは言葉や行動に移そうと。そうしたい思い、学びを得て迎えた卒業式。生徒会長という立場を利用し、僕の中では記録ではなく記憶に残る式、裏テーマでは「家族への感謝を伝える式」にしようと思つた。式当日の朝、僕のやりたいプランと構想を各クラスに頭を下げて伝え回つた。内容としては僕の合図で卒業生は一齐に保護者の方を向き、保護者への感謝をみんなでお伝えするというもの。もちろんサプライズだ。一切のリハーサルも行わずに臨んだが、みんなの協力もあり成功を取めた。壇上からも母親の喜びの顔と涙が見えた。それを見て高校生活二度目で最後となる涙を流した。言葉にして感謝を伝えられたことで、後悔を残すことなく卒業することができた。

この「松楓」を機に色褪せ、忘れかけていた高校生活を振り返る機会を与えられたことに感謝いたします。また、恩師の死を風化させないためにも、あえて記させていただきました。この「松楓」をたまたま目にした同級生が、恩師のことを思い出してくれることも、また本望です。

### 高校時代の思い出



67回卒  
梅本 康平  
(飯能市在住)

私が高校時代で思い出に残っている事は部活です。私は野球部に所属し主将を任せられていました。顧問は羽生先生と吉野先生、中里先生の3人で、毎日のように活動しており、日々忙しい3年間を過ごしていた思い出があります。

西武線の線路をくぐった先に野球部のグラウンドがあります。部活前の足取りは重く、色々な意味で遠いグラウンドへの道のりでした。野球部の練習で一番キツかったのが冬場に行うグラウンドから多峯主山の山頂まで30分です。マネージャーが山頂で待機してタイムを教えてくださいますが、朝アップを行っている途中、マネージャーがストッパウオッチを持って多峯主山方面へと歩き出すのを見ると、部員全員の顔が一気に曇っていたの思い出されます。私もその一人でしたが・・・。



3年生の最後の大会では初戦で負けてしまいました。地元飯能高校に入学したお陰で野球部の仲間であったり、高校で知り合った友達、学校以外で飯高OBの方と知り合うきっかけ

現在私は、段ボールメーカーの営業として化粧品メーカーや食品メーカーを中心に担当し、お客さんの要望に出来る限り沿えるような段ボールを目指し、販路の拡大と、日々忙しい毎日を送っています。

最後に、陰ながらではありますが飯能高校と運動部と文化部の更なる発展をご祈念申し上げます。

### 高校3年間を通して今思うこと



72回卒  
後藤 愛奈  
(入間市在住)

私の高校時代での思い出は3年間活動したバレーボール部の

ことです。私たちの部活は3年間毎年顧問が変わり、部活動をする環境としては恵まれていなかったと思います。ですがそのおかげか、部の仲間との絆はどんどん深まり一生語れる思い出をつくることができました。今思えば、辛かった過去も良い思い出として笑って語れるようになっていきます。今でも同じ学年の5人とは交流が続いており、仲間から一生の友人になる事ができました。3年間何度も辞めようと思った事はありましたが、続けて良かったと今では本当にそう思います。また、顧問の先生と色々あった時期もありましたが先生方に沢山助けをもらい、私たちが最後まで頑張らせてくださり、先生方にはとても感謝しています。

今では看護学生として毎日勉学に励んでおり、辛い事も精神的にきつい事も沢山ありますが、自分なりに必死に乗り越えています。ぶつかる壁は何個もあるけど勉強するしかない、やるしかない、高校時代に培った根性で日々頑張っています。

部活動の思い出はありますが、もう少し沢山ありますが、あの時辞めないで良かった、今こう思えるのはあの時の自分が一生懸命頑張ったからこそだと思います。頑張る事、諦めない事はあの時だけでなく、常に大切なことです。頑張ったと思える、楽しかったと思える高校時代が

送られて良かったです。バレーボール部で過ごした3年間は宝物であり、私の青春そのものでした。

### 私のターニングポイント



定26回卒  
平沼 文男  
(飯能市在住)

私が飯能高校定時制に入学した時は、1年1クラス総勢48名、内男子が14名位だったかと思えます。

上級生にも恵まれ2年先輩に車で良くドライブに連れて行って頂いたり、化学部でしたので天体観測のため、山にテントを張り夜明けかした事が思い出されます。

また、先輩に誘われ4〜5人で軽登山にも行き、一番大変だったのが山小屋に宿泊して2千メートル級の山を5つも6つも越えたこと、夏の万年雪で遊んだことなど初めての宿泊登山はドキドキでした。

それと、ここだけの話ですが、夜の校庭でロケットの燃焼実験をした事です。1分ほど燃焼した後想定外の爆発をして実験が中止。(万が一の事態を考慮、全員避難していたので無事でした)

私の一番のターニングポイントは学芸委員長になった事でし

た。学芸祭が主な行事で体育館のステージで挨拶したり、畳貞(トコテイ)の山崎君とお笑いをやったりと、人前が出る自信がついた事が一番の思い出です。(残念ながら山崎氏は60才にて他界しました)

学校を卒業後、東京宝映に入り、劇団フジの一員として2度の舞台公演に出演し、2年間在籍しました。その頃は三原じゅん子さん(現在、厚生労働副大臣)が小学4〜5年生、私が20才で同じ舞台にたった事が思い出です。

舞台を諦め心機一転22才で仕事を変え、狭山三菱自動車(現在の東日本三菱自動車)狭山店に入社、営業でスタートしました。

30代の時に営業成績(販売台数)で全国1位を獲った事も有りましたが、60才で定年、今年2月に65才で嘱託を終え退職しました。

これからは、若き頃諦めた夢のつづきを、もう一度見たく動く所存です。それでは、また。





会長あいさつ



4 回卒  
会長  
木川 一男  
(飯能市在住)

100周年記念事業 今後の動き

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の流行により、教育現場ではご苦労されていると思います。飯能高校の教職員及び生徒の皆様にはこの厳しい状況を乗り越え、

一日も早く生徒の皆様が安心して学べる環境となることを願っております。

さて、これまでに多くの卒業生から100周年記念事業募金のご協力をいただき、誠にありがとうございます。実行委員会では現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮し、来年度実施予定の創立100周年記念事業について検討を行っております。

また、本年度は新たに学校応援事業の実施を予定しております。この事業は飯能高校のさらなる発展のために皆様から頂戴いたしました寄付金の一部を本校に寄付し、有効に活用していただくものとございます。

創立100周年までのカウントダウンが始まりました。本年度は、記念事業全体の事業計画と事業予算を最終調整し、準備を進めてまいりますので、引き続きご支援くださいますようお願いいたします。

寄付金の状況

平成29年度	30,000円
平成30年度	660,000円
令和元年度	13,443,000円
令和2年度	2,205,000円
寄付件数	1,005件
寄付金合計額	16,338,000円

記念誌部会から資料収集へのご協力をお願い

記念誌部会では創立100周年を記念して飯能高校の記念誌を作成するため、高校の歴史などの資料を集めております。その資料として開校以来の卒業アルバムを所蔵していません。左記の年度のアルバムの資料収集にご協力いただけたる方はご連絡ください。

- ・ 卒業アルバム及びスクラップ
- ・ 生徒会誌、生徒会新聞
- ・ 大会の新聞等のスクラップ

100周年記念事業 募金について

募金にご協力いただける方は、左記までメールでお知らせいただければ募金趣意書等を送付いたします。

(今回の募金目標額) 500万円  
(募集期間) 令和3年12月31日まで  
(募金取扱金融機関) ゆうちょ銀行 (口座名)

飯能高等学校100周年記念事業募金 (口座記号番号)  
0022019188710

連絡先  
飯能高等学校創立100周年記念事業実行委員会事務局  
担当: 嶋田 090-2533-7259  
hanko100@hanno.jp

- ・ 卒業証書
- ・ その他記念になりそうな資料及び写真等
- \*特に、実科女学校、高等女学院、高等学校第1回から30回までの資料。

令和2年度 飯能高等学校創立100周年記念事業実行委員会 収支決算報告書 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

収入の部					単位: 円
科目	予算額	収入済額	比較増減	摘要	
寄附金	500,000	2,205,000	1,705,000	寄附件数 98 件	
繰越金	14,359,044	14,359,044	0		
雑収入(利息等)	956	113	△843	預金利息	
合計	14,860,000	16,564,157	1,704,157		

支出の部					単位: 円
科目	予算額	支出済額	比較増減	摘要	
会議費	300,000	140,243	159,757	総会費、役員会費等	
事業費	1,000,000	290,436	709,564	記念誌編集アドバイス料等	
寄附募集費	100,000	141,525	0	募金趣意書印刷発送業務委託料、寄附金口座への振込手数料負担金等。下段は予備費から充用	
	41,525				
事務費	200,000	38,290	161,710	印刷費、郵送料等	
会報誌定期購読交付金	900,000	882,000	18,000	同窓会へ交付	
雑費	20,000	0	20,000		
予備費	12,340,000	0	12,298,475	下段は寄附募集費へ充当	
	△41,525				
合計	14,860,000	1,492,494	13,367,506		

令和3年度 飯能高等学校創立100周年記念事業実行委員会 予算 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

収入の部					単位: 円
科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘要	
寄附金	2,000,000	500,000	1,500,000	寄附金	
繰越金	15,071,663	14,359,044	712,619	前年度繰越金	
雑収入	337	956	△619	預金利息ほか	
合計	17,072,000	14,860,000	2,212,000		

支出の部					単位: 円
科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘要	
会議費	300,000	300,000	0	総会費、役員会費、部会費	
事業費	1,600,000	1,000,000	600,000	記念誌編集前払い金等	
学校応援事業費	5,000,000	-	5,000,000	飯能高校への寄附金	
寄附募集費	200,000	100,000	100,000	寄附金口座への振込手数料負担金等	
事務費	200,000	200,000	0	印刷費、郵送料、消耗品	
会報誌定期購読交付金	98,000	900,000	△802,000	同窓会へ交付	
雑費	20,000	20,000	0		
予備費	9,654,000	12,340,000	△2,686,000		
合計	17,072,000	14,860,000	2,212,000		

# 令和3年度 飯能高等学校同窓会定期総会

令和3年6月5日(土)に開催予定されていた定期総会は、新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み中止としました。議事・議案に関しまして役員会において審議、承認いたしましたことをご報告いたします。

## 令和2年度 飯能高等学校同窓会 事業報告

事業月日	事業内容
02・04・08	入学式 <※により新入生と教職員のみで開催>
02・04・17	役員会① ・総会について ・会報について
02・05・21	監査会 ・決算
02・06・06	定期総会に代わる役員会 <※により> 役員会② ・会報発行委員会
02・06・27	役員会③ ・総会反省 ・会報発行委員会
02・07・11	役員会④ ・会報発行委員会(松楓44号編集・校正)
02・08・01	役員会⑤ ・会報発行委員会一校正
02・08・08	役員会⑥ ・会報発行委員会二校正
02・08・29	役員会⑦ ・会報発行委員会 ・松楓44号発送作業
02・09・01	会報「松楓」44号発行
02・10・31	役員会⑧ ・会報について
02・12・19	役員会⑨ ・会報について
03・01	役員会 飯能南高校同窓会役員との話し合い<※により中止>
03・03・09	第73 回入会式(228名) <※により中止>
03・03・10	卒業式 <※により卒業生と各家庭1名、教職員のみで開催>
03・03・27	役員会⑩ ・総会について ・会報について

※ 新型コロナ拡大防止のため

## 令和3年度 飯能高等学校同窓会 事業計画

事業月	事業内容
03・04	入学式 <※により新入生と各家庭より1名、教職員のみで開催>
03・04	役員会 ・定期総会資料検討 ・会報発行委員会(松楓45号)
03・05	監査会 ・決算
03・05	役員会 ・定期総会資料検討 ・会報発行委員会(松楓45号)
03・06	定期総会に代わる役員会 <※により> 役員会 ・会報発行委員会(松楓45号 寄稿文依頼確認作業)
03・07	役員会 ・会報発行委員会(校正作業1)
03・07	役員会 ・会報発行委員会(校正作業2)
03・08	役員会 ・会報発行委員会(発行最終チェック)
03・08	役員会 ・松楓発送準備作業
03・09	会報「松楓」45号発行・発送
03・10	役員会
03・11	役員会
04・01	役員会 ・飯能南高等学校同窓会役員との話し合い
04・02	第74回入会式 同窓会役員出席
04・03	卒業式 同窓会会長出席
04・03	役員会 ・事業内容反省会等

※ 新型コロナ拡大防止のため

## 令和2年度 飯能高等学校同窓会 収支決算書

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

科目	予算額	収入済額	比較増減	摘要
会費	1,145,000	1,140,000	△5,000	令和2年度卒業生(228名×5,000)
繰越金	1,430,368	1,430,368	0	前年度から
会報定期購読収入	204,400	204,400	0	平成28年度分(119名×200) 平成29年度分(80名×200) 平成30年度分(36名×200) 令和元年度分(14名×200) 令和2年度分(763名×200)
賛助金	10,000	0	△10,000	
雑収入	232	8	△224	預金利子
合計	2,790,000	2,774,776	△15,224	

支出の部 単位:円

科目	予算額	支出済額	比較増減	摘要
会議費	70,000	9,887	60,113	役員会
会報発行費	800,000	757,198	42,802	松楓44号(9月1日発行)
慶弔費	30,000	0	30,000	
事務費	80,000	14,570	65,430	コピー代等
事業費	500,000	250,000	250,000	学校応援事業
ホームページ費	55,000	55,000	0	サーバー保守料
積立金	50,000	50,000	0	学校応援事業等基金積立金
予備費	1,205,000	0	1,205,000	
合計	2,790,000	1,136,655	1,653,345	

収入合計2,774,776円 - 支出合計1,136,655円 = 1,638,121円(令和3年度へ繰越し)

【財産目録】 普通預金 1,638,121円  
定期預金(学校応援事業等基金) 100,005円

上記のとおり報告いたします。 埼玉県立飯能高等学校同窓会  
令和3年6月5日 会長 澤田 清志 ㊞  
会計 若林 淳子 ㊞  
会計 奥田由記子 ㊞

上記監査の結果 正当と認めます。 埼玉県立飯能高等学校同窓会  
令和3年5月13日 監事 原島 稔久 ㊞  
監事 鯨井 暢 ㊞  
(注: 原本には認印があります)

## 令和3年度 飯能高等学校同窓会 予算

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

科目	本年度	前年度	比較増減	摘要
会費	1,110,000	1,145,000	△35,000	令和3年度卒業予定者(222名×5,000)
繰越金	1,638,121	1,430,368	207,753	前年度から
会報定期購読収入	198,600	204,400	△5,800	松楓定期購読収入(993名×200)
賛助金	10,000	10,000	0	
雑収入	279	232	47	預金利子ほか
合計	2,957,000	2,790,000	167,000	

支出の部 単位:円

科目	本年度	前年度	比較増減	摘要
会議費	50,000	70,000	△20,000	役員会
会報発行費	800,000	800,000	0	会報(45号)印刷(5,000部)
慶弔費	30,000	30,000	0	
事務費	60,000	80,000	△20,000	事務用品ほか
事業費	500,000	500,000	0	学校応援事業ほか
ホームページ費	55,000	55,000	0	サーバー保守料
積立金	50,000	50,000	0	学校応援事業等基金積立金
予備費	1,412,000	1,205,000	207,000	
合計	2,957,000	2,790,000	167,000	

## 定期購読料年度別配分表

単位:円

年度	人数	収入金額	年度別配分額									
			H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
29	80	80,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000					
30	36	36,000		7,200	7,200	7,200	7,200	7,200				
R1	24	24,000			4,800	4,800	4,800	4,800	4,800			
R2	763	763,000				152,600	152,600	152,600	152,600	152,600		
R3	90	90,000					18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	
合計	993	993,000	16,000	23,200	28,000	180,600	198,600	182,600	175,400	170,600	18,000	

【基金残高】 学校応援事業等基金 100,005円

上記のとおり提案いたします。 埼玉県立飯能高等学校同窓会  
令和3年6月5日 会長 澤田 清志





### 旧校歌

五十嵐 力作詞  
下総皖一 作曲

一、聖駕の御幸に 光れる御山

天覧山のよき名を負ひて

西べの御空にそそり立てり

巍々たる岩山 千歳の松の

緑りをかざして 大野に臨む

たふとしこの山 われらの鏡

たふとしこの山 われらのかがみ

二、秩父のみどりの滴りあつめ

名栗の大川淵瀬をなして

北べの広野を めぐりて流る

田畑をうるほし 魚鳥すませ

月影やどらせ 河鹿を啼かす

うつくしこの川 われらの鏡

うつくしこの川 われらのかがみ

### 事務局からのお知らせ

#### 「松楓」定期購読・

賛助金の申し込みは  
郵便局の振込用紙で

- ・振込用紙は飯能高校の事務室窓口でも配布しています
- ・振込手数料は無料です

飯能高校同窓会では、卒業した同窓生の様子や学校の近況を、多くの会員の方々に知っていただきたく、毎年会報「松楓」を発行しています。

この「松楓」45号から定期購読（5年間1000円）になります。定期購読は、郵便局の振込用紙で申し込むことができます。

また、同窓会には賛助金制度があります。同窓会の活動に賛同していただける皆様に、賛助金をお願いしています。賛助金につきましても、郵便局の振込用紙で振り込むことができます。どちらの振込用紙も、飯能高校事務室窓口で配布しています。定期購読、賛助金とも手数料は無料です。振込用紙は、同窓会の役員から受け取れることもできますので、お近くの役員にご連絡ください。

### 令和3年度同窓会役員一覧

顧問	関口 正人 (学校長)
	田中 晃一 (16回卒)
	本橋憲一郎 (20回卒)
参与	町田多加次 (4回卒)
会長	澤田 清志 (23回卒)
副会長	都築 敏夫 (24回卒)
(総務)	
	中里 敏男 (25回卒)
	(事務局長)
	新野代里子 (28回卒)
(会報)	
幹事	佐野 勇 (34回卒)
	豊田 美子 (35回卒)
	若林 淳子 (30回卒)
会計	奥田由記子 (30回卒)
	原島 稔久 (17回卒)
監事	鯨井 暢 (28回卒)
会報委員	
	市川 光男 (24回卒)
	細田 宏子 (28回卒)
	嶋田 栄子 (28回卒)
	矢島幸一郎 (35回卒)
校内理事	
	大野 賢一 (33回卒)
	小澤 真帆 (66回卒)

### ホームページのご案内

パソコン又はスマホから「飯能高校同窓会」で検索しますと、ご覧いただくことができます。是非とも、多くの方にご覧いただきますように。



飯能高校同窓会 検索

### 住所等変更届

住所、氏名等が変更になったときは、事務局までご連絡をお願いいたします。

\*同窓会ホームページお問い合わせアドレス  
hankou.dousoukaikai@gmail.com

\*事務局・豊田  
090-7847-9612

次回 同窓会総会  
令和4年6月4日(土)

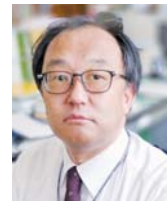


「あまがえるのほうげん」より  
天覧山と多主峰山から見た飯能の街並みを参考にしている。

# 令和3年度 学校の近況について



教頭  
矢島 得充



教頭  
廣瀬 和義

令和3年度も昨年同様、コロナ禍のもと、感染防止のため何かと制限が多いスタートとなりました。しかし、明るい兆しも出ています。卒業式や入学式などの式典は今年も規模の縮小を余儀なくされましたが、授業に関しては現在のところほぼ平常通りに行われています。また部活動についても練習の日数や時間等に制限があるとはいえ、活動を再開しています。大会関連も今年度はほぼ平常通りに開催されており、生徒は練習の成果を発揮しております。一方、学校の行事についても、遠足は、2学年が行き先を東京・羽田方面から秩父に変更を余儀なくされましたが、一年ぶりに無事実施することができました。さらに6月初めには体育祭も開催されました。本校で3学年全体で参加する行事が行われたのは久々で、生徒たちの元気ある雄姿を堪能するこ

とが出来ました。もちろん感染防止のため、声を出しての応援は制限されましたが・・・。学習面については、これまで通り、1年次の英語検定全員受験、2年次は英語等の成績をもとにしたクラス編成と上位クラスの模擬試験全員受験など進学実績の向上を目指す取組を行っています。また、来年度からはじまる新学習指導要領のため、新しい教育課程が編成されました。さらに令和5年度の新校開校のため、分掌としてあらたに新校対応部が設置され、着々と準備を進めております。新校では、進学を重視しつつ多様な進路希望に応えられる単位制の学校を目指していきます。

今後といたしましては、令和4年度に創立100周年事業、令和5年の新校開校が計画されておりです。これからも地域の方々、同窓会の皆様のお力をさらにお借りしながら、生徒がたくましく生きる力を育てる教育を進めて行きたいと思っております。引き続き本校の教育にご理解・ご協力をお願いできれば幸いです。

さて、例年この場で報告させていただいている行事や部活動等の大会結果ですが、昨年はコロナ禍のためほとんどの行事や大会が実施されませんでした。そのため、

数少ない結果報告となりますが、なにとぞ、ご容赦をお願い致します。

## ◎主な学校行事

- 令和2年
- 6月 櫛の木祭(体育の部) 中止
- 9月 櫛の木祭(文化の部) 中止
- 11月 「ウォーク21」(強歩大会) 20日)



密にならないように学年ごとに出発時間をずらし、コースも短めにして実施しました。生徒は自然あふれる奥武蔵の山林の中を気持ちよく走ったり歩いたりしていました。令和2年度で唯一、全校生徒で行うことができた行事となりました。

**令和3年**

**3月 卒業式(10日)**  
228名の卒業生を送り出しました。

**4月 入学式(8日)**  
239名の新入生を迎えました。

卒業式・入学式ともに参加する保護者は各家庭1名まで。在



校生や来賓の参加はありません。校歌の斉唱もできませんでした。例年より寂しい式となりましたが、卒業生も入学生も元気に呼名に應えていました。

## 4月 遠足(23日)

1学年・小松沢レジャー農園  
バーベキューや餅つき体験を行い、きのこ狩りを楽しみました。

2学年・秩父ミューズパーク  
班別オリエンテーリングで体験型プログラムによる探究学習を行いました。

3学年・富士急ハイランド  
1・2学年は現地集合でしたが、3学年は飯能で集まり、バスで出かけました。修学旅行の中止を余儀なくされた学年ですが、楽しい思い出ができたと思います。

## 5月 PTA総会：書類審査

で実施

## 6月 櫛の木祭(体育の部)(3日)

感染症防止のため、競技の種目や選手の集合方法もテンポよく行うために工夫を凝らしました。天候にも恵まれ、白熱した熱戦



が展開されました。応援合戦はできませんでしたが、生徒の満足度が高い体育祭でした。

## ◎部活動の大会実績等

(昨年度7月以降の主な活動状況)  
昨年はコロナ禍のため、ほとんどの大会が縮小もしくは中止したため、部活動の実績をほとんど残すことができませんでした。以下の結果は今年になつてから6月15日現在の途中経過です。

**ホッケー部**  
全国高等学校総合体育大会(インターハイ)出場 (13回連続)

(6月)

**卓球部**  
新人戦女子個人県大会出場 (2月)

男子学校対抗・女子学校対抗・女子ダブルス 県大会出場 (15回連続) (6月)

今年度こそ、コロナ禍をぬけて、生徒が安心・安全な学校生活を送れることを願ってやみません。



# 母校だより

## 華道部

顧問 太田 香里

華道部は、50年以上にわたり活動し続ける飯能高校の中でも歴史ある部活です。現在は2年生3名、3年生1名の合計4名で活動しています。平成30年度からは、本校卒業生で、龍生派家元教授の加藤紫玉先生をお迎えして、花生けに取り組んでいます。



龍生派が誕生したのは、明治19年。愛知県岡崎で藩の祐筆をつとめる家に生まれた吉村華芸(幼名は卓次郎)によって、本家池坊から別に龍生派が創設されました。「植物を無機物と等しく、色や質感のみでとらえるオブジェ生け花ではなく、人間自ら植



物と同じ生命体としての関係に立って自分なりの相貌を発見しよう、という方法論を持つています。」(三代目家元吉村華芸著 龍生派の自由花入門・初伝から抜粋)

生徒は、「自由花」の基礎課程を学んでいます。自由といっても、初心者では一体どこから手をつけていいのか分かりません。そこで3つの花型(真、行、草)の基本花型と変化花型を通して、切り方、挿し方、枝や花の表情の捉え方や空間のデザインの仕方などを学んでいきます。1年生のうちには教本にとらめっこだった生徒も、2年生になる頃には花材と向き合い、試行錯誤し自由に生け始めます。同じ花材でも生ける人によって全く違った作品が出来、「この生徒の心の内にはこんな一面もあるのだなあ。」と感心してしまいます。5分間の制限時間内に観客の前でアクティブに花を生けていく、「全国高校生花生けバトル」へ(@池袋サンシャインシティ)へ

## バレーボール部

顧問 松丸 侑里

の出場も目指し、日々お稽古を頑張っています。  
※武家の秘書役を行う文官のこと

バレーボール部は現在3年生2名、2年生8名、1年生7名の計17名で活動に励んでいます。活動内容は基礎練習、トレーニング、ミーティング、他校との合同練習や練習試合等多岐にわたって行っています。部員たちは明るく元気な生徒が多く、部活動だけでなく、積極的に資格取得を目指したり模試を受験したりと進路意識を高くもっている生徒もおり、文武両道を兼ね備えた部活動です。

昨年度は新型コロナウイルスの影響により春に予定されていた春季大会、インターハイ予選に加え、1月に予定されていた新人戦までもが中止となり、そこに向けて準備してきた私たちにとってそのショックは大きなものでした。しかしバレー部の持ち前の明るさと前向きさで次に向けて気持ちを切り替え、目標に向かって歩みを進めています。現在では部員たち自らが県大会出場という大きな目標を掲げ、バレー部員としての絆を深めながら自覚や誇りをもって日々の活動を続けています。令和5年度の飯能新校新設を控える中で、

特に現在の2年生にとっては飯能高校最後の代として大きな意味を持つ一年です。飯能高校を代表する信頼される部活動の一つになることを目指し、普段の学校生活から自覚をもって過ごしています。

また、毎年秋に行われる1年生大会に、昨年度は久しぶりに単独チームとして出場し、技術講習を行いました。今年度も参加を予定しているこの大会に向けて、現在の1年生も元気に練習に取り組んでいます。

私自身顧問として部員たちと関わる中で、日々彼女たちの成長を大きく感じています。今後の成長もより一層楽しみにしています。皆様にはこれからもあったかいご支援の程よろしくお願いいたします。



## 令和3年度人事異動

### (退職)

清水 繁  
細野 二郎

### (転出)

福田麻衣子(豊岡高校)  
深沢 希美(鶴ヶ島清風高校)  
高橋 修平(朝霞高校)  
梅田 直希(春日部女子高校)  
坂本 春菜(入間向陽高校)  
金野 光司(ふじみ野高校)  
秋山 雅子(狭山清陵高校)  
庄子 和貴(和光国際高校)  
櫻井 岳(本庄高校定時制)  
関根 一弘(小川高校)  
軽部 敬子  
三ツ木陽介  
吉田英里奈  
佐藤 七重(所沢おぢな特孝)

### (転入)

佐藤 秀樹(入間向陽高校)  
坂籾 美樹(所沢商業高校)  
錠 昌洋(所沢北高校)  
白木 奈望(川越女子高校)  
パイヤール祥子(伊奈学園高校)  
藤田 勇輝(鳩山高校)  
金子 龍馬(豊岡高校)  
犬塚 竜司  
山崎 勉(羽生高校定時制)  
増田 正(浦和第一女子高校)  
内山 ちせ(鶴ヶ島清風高校)  
清水 優太(ふじみ野高校)  
三浦周一郎(本校教諭)  
鯨井 暢(本校教諭)  
吉野 善行(本校教諭)  
清水 繁(本校教諭)  
細野 二郎(本校教諭)  
堀 健太郎

# 飯能高校 ICT 化進行中！

英語科教諭 稲村 香菜



昨年から、全教室にプロジェクターが設置され、今年からは全教室にスクリーンも設置されました。普通の授業はもちろんのこと、放課後の補講や、部活動のミーティングなど様々な場面で活用されています。今までのような各先生によって違う板書も、授業の楽しみではありましたが、見やすいきれいな映像というのも、生徒にとって良い環境になってきていると思います。

また、電子黒板や授業で貸し出すことのできる Chromebook（タブレット端末）も導入しています。スライドだけでなく、動画等も Chromebook を通して、すぐに見せることができるため、授業で使っている教員も多いです。そして教員だけでなく、生徒自身がパワーポイントを作成したり、さまざまな作品を作成したりすることができます。

教室棟には Wi-Fi が各階に設置されましたので、今後は生徒のスマートフォンを繋ぐことができるようになります。これにより、スマートフォンを活用した学習活動をより円滑に行うことができ、生徒の学習意欲が高まっていくことを期待しています。

令和3年3月卒業（高校73回）された同窓生の中から、左記の方が理事となりましたので紹介いたします。

## 同窓会理事名簿追加 （第73回卒業生 同窓会理事）

1組	大崎 春奈
2組	増田 莉絵
3組	野崎 智希
4組	川上 竜太
5組	村上 陽太
6組	石田 梨斗
学年代表	村上 ひかり



今回45号のイラストは『あまがえるのかくれんぼ』(たてのひろし/文 世界文化社 2019年)、『あまがえるのぼうけん』(たてのひろし/文 世界文化社 2021年)の絵を担当したかわしまはるさんの作品を転載いたしました。

## 編集後記

45号の編集において、多くの方に原稿・写真をお寄せいただきまして心より御礼申し上げます。編集会議で原稿を読ませていただき、皆さんの楽しかった高校時代を知ることができました。時代は違っても同じ学び舎での出来事と思うと感動がこみ上げてきました。今は、人との距離を保つように言われていますが「松楓」を読むことにより、同窓生の心の距離が近いものになれたら良いと思います。

E・S

### 【編集委員】（◎編集委員長）

- 澤田 清志 嶋田 栄子
- 都築 敏夫 矢島幸一郎
- 中里 敏男 若林 淳子
- ◎新野代里子 奥田由記子
- 市川 光男 佐野 勇
- 細田 宏子 豊田 美子

### 会報「松楓」第45号

令和3年9月1日

編集・発行 同窓会

発行責任者 会長 澤田 清志

印刷 (株)ブラウズ

発行所 埼玉県飯能市

埼玉県立飯能高等学校内

飯能高等学校同窓会